

一人の若い俳優の言葉に触れ、成功の裏側にある謙虚さや、常に自分を見つめ続けようとする姿勢の尊さを強く感じました。結果だけに目を向けるのではなく、支えてくれた人への感謝や、人としての在り方を大切にすることは、今を生きる子供たちにこそ伝えたい価値だと思いました。年の瀬という節目に、自分の歩みを振り返り、優しさや努力の意味を考える時間をもってほしい——そんな願いを込めて、この話をすることにしました。

\*\*\*\*\*

## 1224 2学期終業式でのお話

とても心に残る映画があります。

その映画は「怪物」という映画で、その主人公を演じたのは当時中学生の黒木想矢さんという若い俳優さんです。

映画もさることながら、彼の演技がとても素晴らしかったため、映画初出演ながら数々の新人賞を総なめにしました。

彼は、その年の日本アカデミー賞新人俳優賞という価値のある賞を受賞し、そのステージ上で、多くの人たちの前でこのように話しました。

ぼくはいま、2つの自分と戦っています。

怪物でミナト役を演じられたのは、運でしかないと思うぼくと、  
まるで自分の力でやり遂げたと勘違いしてしまう自分です  
毎回この感情の戦いに打ち勝って  
常に優しい人間であり、俳優でありたいと思います。

黒川さんのこの言葉を聞いたとき、彼の心がとても澄んでいて美しいと、胸を打たれました。  
「すごい結果は決して一人の力ではない」と捉えていること  
成功してもいつも自分を見つめ直したいと思っていること  
人としての優しさを持ち続けたいと思っていること

本当に素敵なお人なのだとこの言葉から感じるができます。

それから2年を経て、黒川さんは今16歳です。

今年大ヒットした「国宝」という映画にも出演し、その演技力がさらに高く評価されています。  
かつて自分がステージ上で誓った言葉をきっと守って、努力を重ねてきたのだと思います。

今年もあと1週間です。

年の瀬、自分を見つめ直すよい時季です。

自分は何かに向かって頑張れたのだろうか。

頑張れたとしたら、どのような人の支えがあっただろうか。

優しくありたいと思いつけられたらどうか。

そして人に優しくできただろうか。

ぜひ自分に問うてみてください。

15日後、元気な笑顔で会いましょう。

今年一年、皆さんと過ごせて大変楽しく嬉しかったです。ありがとう。

よいお年をお迎えください。